

クイックガイド

# 90z BOOMBAP MAKER

曲からループを掘って、90s ビートを組む。  
インストール不要・無料・ブラウザで動く。



# 画面の見方



1

## LCD（作業場）

波形が主役。ここに曲をドロップして読み込む。上 = 曲全体、下 = 拡大。下段バーに BPM とズーム

2

## FUNCTION

F1 Loop → F2 Drum → F3 Bank → F4 Sequence の順に進むと曲が完成。F5 は保存

3

## 音量ノブ

MST= 全体 / SMP= ネタ / DRM= ドラム / BAS= ベース。上下ドラッグ

4

## PLAY

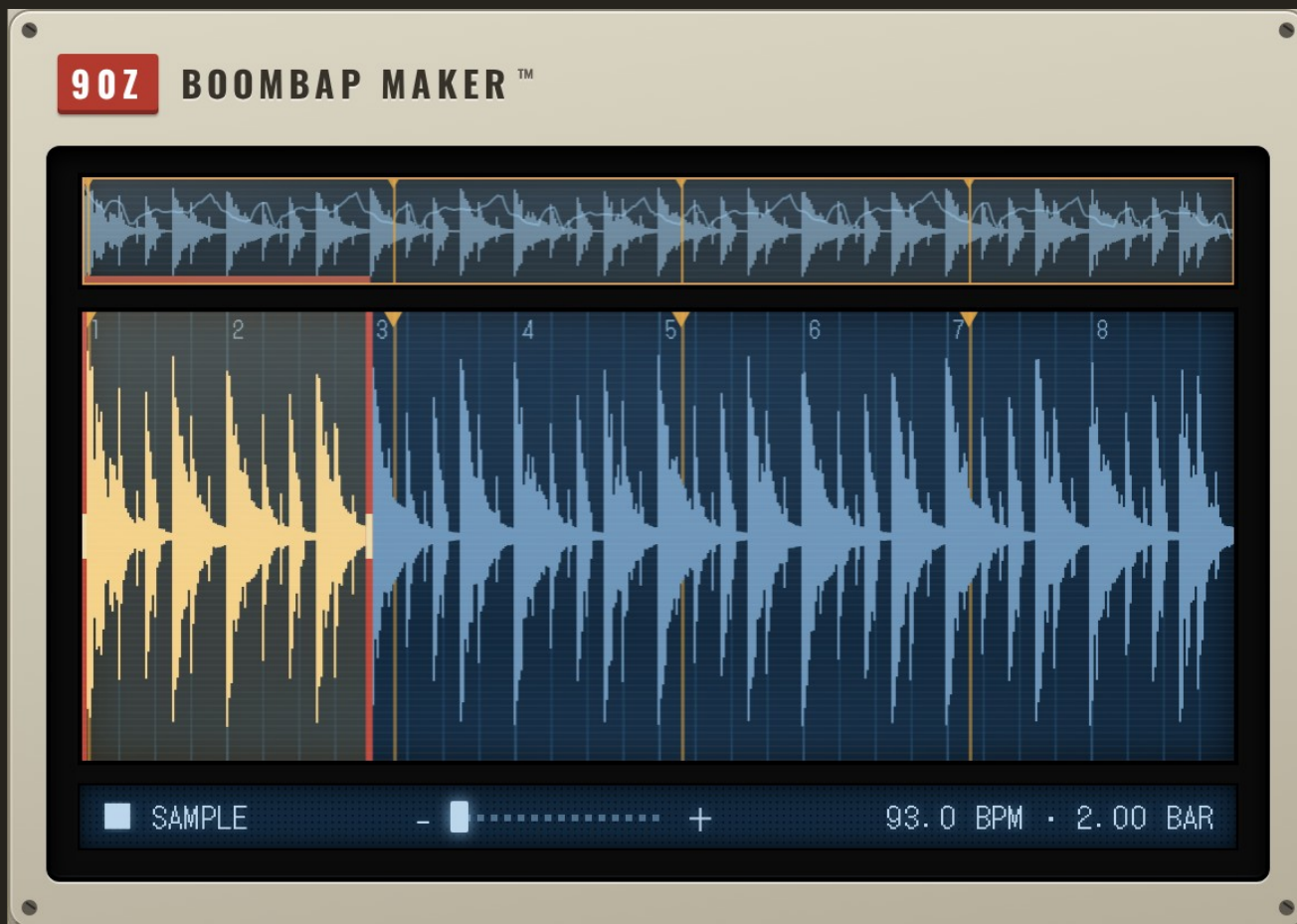
再生と停止（Space 可）、Undo。再生対象は今のファンクションに自動で連動

5

## 操作パネル

選択中ファンクションの操作がここに出る（画像は Loop：ピッチ・ループ長・Set BPM）。保存や WAV 書き出しは F5 から

## STEP 1-2 曲を読み込む → BPM を整える



### 読み込む

画面（LCD）に WAV / MP3 / AIFF をドラッグ、またはクリックして選択。BPM とグリッドは自動検出されます。録音から始めるなら右上 Load の「Sample Recording」。

### 倍・半分に検出されたら

速すぎ・遅すぎに感じたら、LCD 上の「1/2」「2×」ボタンで一発補正。細かい正解探しは不要です（あとで STEP 4 が合わせてくれる）。

## STEP 3 ループを切って、耳で選ぶ



### 1 波形をクリック

ループの開始位置が小節単位でスナップ。1/2/4/8 Bar で長さを選ぶ（基本は 2 小節）

### 2 Prev / Next で掘る

長さそのまま開始位置を 1 小節送り。選んだ瞬間ループ再生されるので耳で比較

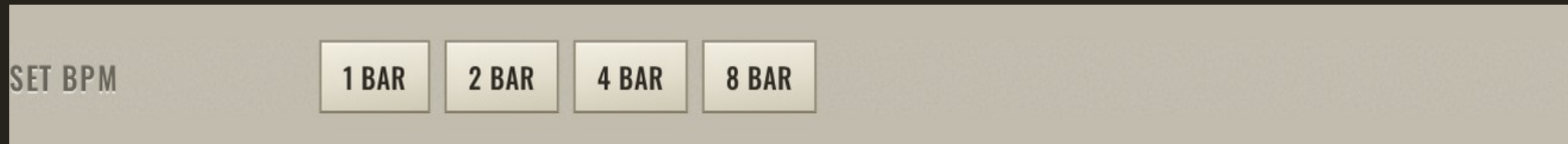
### 3 端ドラッグで微調整

16 分単位でスナップ（Shift で自由）。Lock ボタンで長さ固定のまま無段階スライドも

### 4 Pitch は回転数で

45 / 78 = レコードを速く回す感覚のリピッチ。33 で元に戻す。Tone= 左でベースだけ残す／右で低域カット

## STEP 4 Set BPM from selection (ここが肝)



### 耳が先、数字が後。

気持ちいいループができたら、「This selection is 1 / 2 / 4 / 8 bar」を押して「この選択は 2 小節」と教える。ループの実際の長さから正確な BPM が逆算され、グリッドとドラムがピタッと揃います。

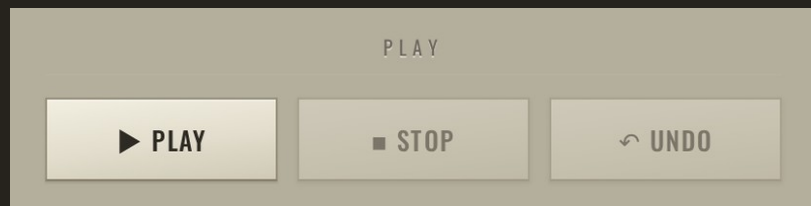
### BPM は 1 回確定したら、以降さわらない。

複数ループを並べる予定なら特に。長さはボタンで固定し、気持ちよさは開始位置で探すと、あとで並べてもテンポがヨレません。

# STEP 5 ドラムとベースを乗せる（F2 Drum）



展開のコツ：足すより抜く。イントロはドラム抜き、サビ前はフィル（Drop）で一瞬空ける。



気に入らない操作は Undo（⌘Z）でいつでも戻せます

## プリセット 20 種

全部ブーンバップ系。まず選んで鳴らす

## Swing

ハネ具合。プリセット既定値から好みに調整

## Shift

パターンを 16 分単位で回転。キックの位置を曲に合わせる

## Nudge

鳴るタイミングを ms 単位で前後（前ノリ・後ノリ）

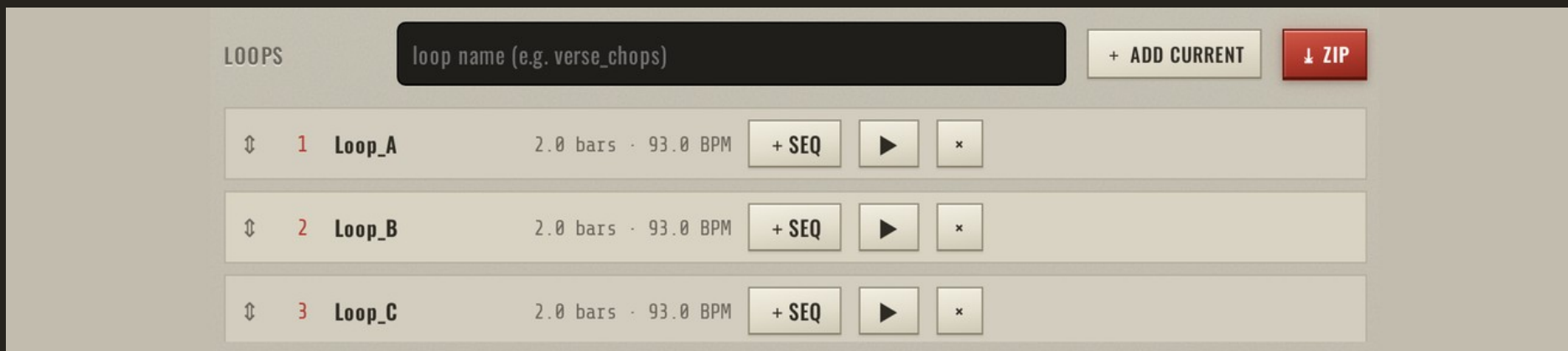
## Root Bass

ルート 1 音のベースがキックに追従。Key は ON 時に自動推定

## Feel

パート別のタイムずらし。Drunk= キック前・スネア後の酔ったノリ

## STEP 6 気に入ったループを Bank に貯める（F3）



+ Add Current で今のループが素材（Loop A / B / C…）として貯まります。ピッチも一緒に記録。

**ワンレコード主義でいく。名前は行の上で打ち替え可。**

同じ曲の別の場所からもう 1 本、2 本と掘る。同じ録音ならキー・質感・テンポが自動で揃うので、次の Sequence で何を重ねても喧嘩しません。イントロから 1 本、サビ前から 1 本、アウトロから 1 本。

# STEP 7 並べて曲にして、書き出す（F4 Sequence）



完成したら Export Sequence (WAV)。ラッパーが乗る前提なら「イントロ→バース 16 小節→サビ 8 小節→アウトロ」（ワンハーフ・約 1 分半）が業界標準のデモ形式。



## Auto-Arrange

3 パターンからランダムに 3 ～ 4 分の構成を生成（Verse A/B/C 表記・押すたび別形）

## ×N

セクションの繰り返し回数（バースは 8 回 = 16 小節）

## D / B / T

区間ごとのドラム・ベース・Tone の入り切り = 展開づくり

## F（フィル）

区間最後の 1 小節に変化。10 種・既定は Drop = 一瞬抜く

## ドラッグ

並べ替え。行の複製ボタンでブレイク版も作れる

作業はブラウザに自動保存。 .90zbeat ファイルで書き出せば別の PC でも完全復元

# つまずいたら

- |   |                    |                                                                  |
|---|--------------------|------------------------------------------------------------------|
| Q | 音が出ない              | ブラウザの自動再生制限。画面をどこか一度クリックしてから再生                                   |
| Q | BPM が明らかに倍・半分      | LCD 上の $1/2$ ・ $2\times$ で一発補正                                   |
| Q | ループは気持ちいいのにドラムがズレる | 選択が整数小節になっていない。Set BPM from selection で確定（波形下に琥珀色の警告が出ます）        |
| Q | シーケンスでテンポが変わって聞こえる | BPM グリッドとループ実尺のズレ（△警告表示）か、Bank に記録したピッチと今のピッチの差。Set BPM→ 貯め直しで解決 |
| Q | DAW にドラッグできない      | Safari / Firefox は非対応。Export Loop で WAV 書き出し                     |
| Q | スマホで操作しづらい         | PC 前提の設計。リンクをコピーして PC で開き直す                                      |

# 作るのは道具。決めるのは耳。宿すのは実機。

このツールはあえてクリーンな音のまま書き出します。ローファイの質感、テープの飽和、実機の塊感はシミュレーションでは宿らないから。

仕上げたくなったら、完成したビートを実機マスタリング「90z Re:master」へ。SP-1200 / MPC の系譜のハードウェアを通して、90 年代の質感で納品します。

**90z Re:master**    1 曲 ¥11,800 （ローンチ記念・～ 7/31）    [shop.creamteamrecords.com](https://shop.creamteamrecords.com)

ツール： [creamteamrecords.com/90z-boombap-maker/](https://creamteamrecords.com/90z-boombap-maker/)    ご意見はツール内の Feedback から（メアド不要）